

令和3年度 学校教育自己診断の結果について【報告】

★報告の内容は下の4項目



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

★★★ 分析基準 ★★★

- * 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」の回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」の回答を否定的と捉える。
- * 達成度を測る基準として「肯定的意見が全体の70%以上」を捉える。また、「否定的意見は全体の30%以上」を課題として捉える。

(1) 提出率

	提出数	提出率	昨年度	合計	総合・提出率
保護者	339/404人	84%	85%	511/577人	89%
教職員	172/173人	99%	100%		
生徒（高等部）	65/90人	72%	74%		

* 昨年度との比較

- 保護者の提出率は、1%下がった。次年度も引き続き協力を呼びかける。
- 教職員の提出率は、1%下がった。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図っていく。
- 生徒の提出率は、2%下がった。次年度も引き続き協力を呼びかける。

(2) 集計結果・分析 (生徒)

このアンケートは、みなさんが勉強したり、遊んだり学校で楽しくすごせるようにするためのものです。こたえ方は、「はい」「いいえ」「わからない」と書いてあるところを○でかこんでください。

■肯定的意見90%以上 ▲肯定的意見5%以上の上昇
▽肯定的意見5%以上の下降

- 1 学校へ行くのが楽しいですか。
- 2 授業はわかりやすいですか。
- 3 学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。
- 4 先生はがんばったことをほめてくれますか。
- 5 先生はこまっているとき、たすけてくれますか。
- 6 いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。
- 7 卒業後の進路のことでわからないことがあれば、先生は教えてくれますか。
- 8 校外学習、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。
- 9 給食はおいしいですか。
- 10 「八尾アスレチックフィールド」のボルダリングや芝生は楽しいですか。

	R3肯定	R3否定	R2肯定	R2否定
1	■92 ▲	3	78	1
2	82 ▲	0	76	5
3	86 ▲	2	75	1
4	88	3	89	0
5	87 ▲	2	76	2
6	58	2	60	4
7	63 ▽	0	69	0
8	80 ▲	3	75	1
9	■95 ▲	2	87	5
10	58 ▲	5	47	5

【考察】

- 10項目中、達成基準に達したもの(70%以上)は7項目あった。
 - ・そのうち、昨年より5%以上数値が上昇した項目は、1番『学校へ行くのが楽しいですか。』、2番『授業はわかりやすいですか。』、3番『学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。』、5番『先生はこまっているとき、たすけてくれますか。』、8番『校外学習、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。』、9番『給食はおいしいですか。』の6項目あった。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で学校での活動が制限されていたが、今年度は少しずつ活動を再開できたことが上昇の原因と考えられる。
- 基準に達しなかったものとしては、次の3項目が挙げられる。
 - ・6番『いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。』の否定的意見の2%に対しては真摯に受け止め、日ごろの児童生徒の様子や言葉にしっかりと寄り添っていく必要がある。また、「わからない」への回答と無回答の数値が合わせて40%あった。いじめに関しては、問題が表面化していない可能性も考えられるため、「いじめに関するアンケート」の実施や校内の「みんなの相談ポスト」の周知など、早期発見・早期対策に努めていきたい。
 - ・7番『卒業後の進路のことでわからないことがあれば、先生は教えてくれますか。』は、否定的意見はなく、「わからない」への回答と無回答の数値が合わせて37%であった。進路指導や進路指導の充実を図り、生徒たちにわかりやすい発信をしていきたい。
 - ・10番『「八尾アスレチックフィールド」のボルダリングや芝生は楽しいですか。』は、肯定的意見が11%上昇したものの、「八尾アスレチックフィールドの場所を知らない」という記述回答もあった。休み時間や体育の授業等で積極的に活用し、楽しく体を動かす習慣づくりに繋げていきたい。

(2) 集計結果・分析（保護者）

		R3 肯定	R3 否定	R2 肯定	R2 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	
児童・生徒の様子	1 学校へ行くことを楽しみにしている。	1	88	9	■90	7	88	9	86	11	92	6
	2 授業を楽しみにしている。	2	82	10	85	9	82	8	83	12	80	13
	3 給食を楽しみにしている。	3	87	9	89	9	83	10	88	10	91	6
	4 学校行事（運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など）を楽しみにしている。	4	85	7	87	8	80	6	89	7	84	9
教育活動	5 『個別の教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	5	■96	1	■93	3	98	0	96	1	94	2
	6 子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	6	■93	2	■91	5	97	2	91	2	92	2
	7 教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	7	■91	1	88	4	92	2	90	0	91	3
	8 『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	8	■96	1	■92	2	97	1	95	1	97	0
	9 検診や測定、食育活動、手洗い指導などを通じて、適切な健康教育を行っている。	9	■97	1	■96	1	98	0	96	1	98	2
	10 避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	10	■93	1	■90	2	97	1	91	1	88	2
	11 体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	11	81	2	83	2	77	2	84	1	83	2
	12 いじめについて子どもが困っていることがあれば真摯に対応している。	12	72	2	72	3	64	2	76	1	78	2
	13 あいさつや規則を守るなどを通して、社会性を養う指導を行っている。	13	■92	2	■93	2	93	2	91	1	92	3
	14 学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	14	89	1	87	4	86	1	93	1	86	3
	15 近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	15	64 ▽	11	71	10	68	7	67	10	50	20
保護者との連携	16 健康に必要な情報（保健だより・食育だより）を適切に提供している。	16	■98	1	■99	0	98	1	98	0	98	0
	17 進路に関する情報（進路だよりや保護者説明会など）を適切に提供している。	17	■96	1	■98	1	95	1	96	0	95	3
	18 児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	18	89	3	■90	4	87	3	89	4	94	2
	19 学校では、PTA活動が活発に行われている。	19	85	4	84	3	85	2	86	4	83	6
	20 学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	20	■96	3	■95	4	95	4	97	1	94	6
教育環境その他	21 教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	21	■90	2	86	3	92	2	89	0	89	5
	22 校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。	22	■90	1	■94	1	92	2	91	0	86	3
	23 施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備・点検されている。	23	76 ▽	4	81	9	73	5	79	3	78	5
	24 災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	24	81	2	85	2	81	2	81	1	81	2
	25 楽しく運動するための環境が整備されている。	25	87	3	89	5	85	4	89	1	88	5
	26 新型コロナウイルス感染症の対策ができています。	26	■90	2	89	3	85	3	93	1	91	3
実習	27 企業・施設・事業所（作業所など）の情報を提供している。	27	■96	4	■93	5	△	△	△	△	96	4
	28 企業実習・事業所（作業所など）実習の取り組み・支援が適切に行われている。	28	■90	7	■90	6	△	△	△	△	90	7

【考察】

- 28項目中、達成基準に達したものの（70%以上）は27項目あった。
- 11番『体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。』の肯定的意見は2% 下降し、否定的意見は2%あった。教職員としての行動指針の確認、セルフチェックシートの活用などを引き続き行っていく。また、人権研修を計画的に実施し、人権意識をより高めていきたい。
- 12番『いじめについて子どもが困っていることがあれば真摯に対応している。』の否定的意見の2%については、生徒向けアンケートの考察と同様に真摯に受け止める必要がある。また、「わからない」への回答と無回答の数値が合わせて26%あった。学校と家庭とが連携を取りながら早期発見・早期対策に努めていきたい。
- 15番の『交流』に関する項目のみ達成基準に未達で、さらに肯定的意見が7%下降した。今年度も新型コロナウイルスの影響で、実施日程や内容等について相手校との調整がつかずに居住地校交流の実施を見送ったり、近隣の学校園との交流がオンライン上になったり制限があった。また、各学部とも近隣の学校園と交流を行っている学年が決められていることや生徒会役員に限られた交流があること等が影響していると考えられる。「わからない」への回答と無回答の数値は合わせて25%あり、居住地校交流や近隣の学校園との交流が、本校の教育活動とより密接に結びつくようさらなる実践を進めていきたい。
- 20番の『学習や生活の様子を知ることができる』に関する項目は、達成基準に達しているものの、「学校の様子がよくわからない。」「授業の様子がよくわからない。」という記述回答がいくつかあった。日々の連絡帳でのやりとりや、児童生徒の学校での様子を見ていただける機会を積極的に設け、開かれた学校づくりを行っていく。

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R3 肯定 (%)	R3 否定	R2 肯定 (%)	R2 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定
教育活動	1	『個別の教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	88	9			88	12	89	10	95	5
	2	児童・生徒の発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■91	7	■94	6	95	5	92	8	89	11
	3	教科学習や生活指導における教材や教具は、視覚的にわかりやすくするなど、工夫・配慮している。	■92	5			95	3	92	8	95	5
	4	『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	86 ▽	12	■93	7	88	12	89	11	84	14
	5	検診や測定、食育活動、手洗い指導などを通じて、適切な健康教育を行っている。	■94	4	■97	2	88	9	100	0	92	5
	6	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■91	9	■95	5	84	16	92	8	97	3
	7	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮・環境設定を行っている。	■91	8	■91	9	95	3	89	11	86	14
	8	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	81	10	85	15	74	12	90	3	78	19
	9	あいさつや規則を守ること等を通して、社会性を養う指導を行っている。	88	11	■92	8	90	10	87	11	86	14
	10	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	83	15	86	14	79	17	82	18	86	14
	11	企業実習・事業所実習の取り組み・支援を適切に行っている。	77 ▽	11	89	9	64	12	73	16	97	3
	12	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	75 ▽	23	85	15	78	17	82	18	59	41
	13	授業や特別活動等で八尾アスレチックフィールド（ポルダリング・築山・ウッドチップ）を活用している。	42 ▽	54	51	49	43	50	48	50	32	68
保護者との連携	14	健康に必要な情報（保健だより・食育だよりなど）を適切に提供している。	■96	2	■98	2	95	3	98	0	92	5
	15	進路について必要な情報（進路だよりや保護者説明会）、また企業・施設・事業所などの情報を提供している。	■92	4	■96	3	83	3	97	3	97	3
	16	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	■94	6	■96	3	93	7	94	6	95	5
	17	学校では、PTA活動が活発に行われている。	84 ▽	10	■92	8	79	10	92	3	76	22
18	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■93	5	■98	2	97	3	97	3	92	8	
組織マネジメント	19	校長は自らの教育理念や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	38	53			31	59	42	48	32	62
	20	准校長は自らの教育理念や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	68	21			66	22	66	18	65	30
	21	学校運営に教職員の意見や会議の結果が反映されている。	37	60			43	53	31	65	30	70
	22	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	47	48	47	53	55	38	47	47	30	70
	23	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	65	34	62	38	72	28	65	32	49	51
	24	体罰防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるように、研修等に取り組んでいる。	84	16	83	15	88	12	87	13	68	32
	25	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	56 ▽	38	67	33	57	38	66	31	35	62
	26	分掌、学部、学年の連携は図られている。	55 ▽	40	65	35	69	26	63	34	27	70
	27	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業準備の時間など、労働条件や労働衛生環境は改善している。	44	55			47	50	53	47	16	84
	28	個人情報の管理における校内システムは確立している。	83 ▽	13	88	12	81	12	89	8	70	27
29	情報公開に対応するための教職員の共通理解が図られている。	68 ▽	22	76	24	69	17	73	19	54	35	
地域連携	30	地域支援においてセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが動きやすい体制（非常勤講師の配置など）が整っている。	67 ▽	23	83	17	66	19	71	23	57	35
	31	地域の幼稚園・保育園・小中学校・高校との連携・支援を行っている。	64 ▽	24	77	23	72	16	65	24	43	43
	32	言語聴覚士・臨床心理士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し児童・生徒の支援を行っている。	80 ▽	17	88	12	88	9	81	16	60	38
	33	地域に開かれた研修会を行っている。	63	27			71	21	65	24	51	41
教務	34	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	83	8	86	12	85		87	3	73	22

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R3 肯定 (%)	R3 否定	R2 肯定 (%)	R2 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定
総務	35	施設・設備は安全面に十分配慮し、整備を行っている。	52	47	54	46	57	40	58	42	32	65
	36	学校予算は適正に編成・執行されている。	70 ▽	19	86	14	69	12	76	15	49	46
	37	PTA活動への教職員の理解・参加・協力は積極的である。	66 ▽	26	81	18	67	21	71	24	51	41
	38	ICT教育の推進に必要な機器（タブレット端末など）は充実している。	80 ▲	20	51	49	69	31	85	15	81	19
	39	日々の教育活動においてICT機器（タブレット端末など）を積極的に活用している。	83 ▲	15	69	31	71	26	90	10	89	11
生活安全	40	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	80	16	82	17	76	16	84	16	78	22
	41	全校集会など児童・生徒会活動は活発である。	57 ▽	37	66	34	66	33	53	39	46	49
	42	校外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	87	11	84	16	88	9	90	8	76	22
	43	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	87	12	87	13	86	14	85	15	89	11
保健衛生	44	保健室は健康に関する相談がしやすい。	■95	4	■92	7	95	5	97	2	95	5
	45	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	■97	3	■98	1	97	3	98	2	97	3
	46	給食は子どもの実態に応じて安全に作られている。	■91	9	■93	6	84	16	98	2	84	14
支援教育	47	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談・支援教育相談会及び勉強会など）が受けやすい体制が整っている。	80 ▽	16	88	10	85	12	86	10	59	41
	48	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができるように計画的に実施されている。	76	22	△	△	81	16	77	23	60	38
	49	キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している。	68 ▽	27	76	22	66	29	74	24	65	35
	50	授業づくりに活用できる教材・教具（タイムタイマーなどの支援グッズや授業記録「アーカイブ」・支援教育図書コーナーなど）を利用したことがある。	77 ▲	19	69	30	79	16	86	13	62	35
キャリア	51	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	86	8	84	14	86	3	90	7	78	22
	52	卒業生のアフターケア（進路先訪問や進路変更の相談など）が行われている。	66 ▽	8	86	11	53	7	63	8	87	11
行事	53	運動会や作品展など、各教職員の役割分担と連携により円滑に行われている。	75	24	△	△	71	28	89	11	57	43
その他	54	新型コロナウイルス感染症の対策ができている。	77	23	78	21	74	26	79	21	70	27

【備考】 *今年度は、「わからない」の選択肢を追加したため、昨年度の数値と単純比較することはできません。
*文言が変わっている設問（塗りつぶしている設問）の昨年度の数値は記載していません。

【考察】

- 54項目中、達成基準に達したもの（70%以上）は36項目あった。
- 13番の『八尾アスレチックフィールドの活用』は、各学部の体育の授業での活用や、特別活動の時間等で開放しているが、築山の芝生やウッドチップの維持・メンテナンスが難しく課題がある。今後、維持・メンテナンスのための清掃活動なども含め、学校全体で取り組んでいく必要がある。
- 19番～29番の「組織マネジメント」11項目中、9項目が達成基準に未達であった。情報共有の在り方や組織マネジメント等、今後「見えやすい」機能的な学校運営にしていく必要がある。
- 30番～33番の「地域連携」は、全体的に数値が下降している。今年度も新型コロナウイルスの影響で活動が制限される部分もあったが、リーディングスタッフやコーディネーターが働きやすい体制を整え、地域のセンター校としての役割を担っていきたい。
- 35番の『施設・設備』は、特に高等部の数値が低い。日頃から教職員、生徒ともに清掃を行っているが、成果が見られないプレハブ棟（トイレ含む）の現状が大きく影響していると考えられる。屋外トイレは、以前から改善してほしいという要望がたくさんあり、学校としても引き続き府に要請をしていく。
- 37番の『PTA活動』は、肯定的意見が15%下降している。保護者のみならず、教職員に対してもPTAの活動内容を周知していくとともに、教職員の意見も反映させるなど、「協働」する活動を増やしていきたい。
- 38番、39番の『ICT機器の充実・活用』は、肯定的意見が5%以上上昇した。昨年度末にGIGAスクール構想に伴う構内インフラ整備を実施し、無線アクセスポイントが設置された。ICTに関する校内研修の実施や、導入されたタブレット端末を授業で活用しやすくなったことが原因と考えられる。
- 52番の『卒業生へのアフターケア』は、新設した「わからない」への回答が小学部で38%、中学部で29%であったことが肯定的意見の数値が下降した原因と考えられる。高等部のみならず、学校全体で卒業生に関する情報共有をしていきたい。

(3) 記述回答まとめ

多くのご意見をいただき誠にありがとうございました。

(複数あったご意見について回答しています。)

1 施設整備に関して

○施設を安全に衛生的に整備してほしい。トイレをきれいにしてほしい。プレハブ棟を立て替えてほしい。

⇒平成30年度、および令和元年度に大規模改修が実施された場所については、各教室・廊下・トイレ等の環境は大きく改善されました。しかし、プレハブ棟（屋外トイレ含む）については改修の対象ではなく、まだまだ課題が多いのが現状です。日頃の清掃はもちろんのことではありますが、環境改善に向けて引き続き府に強く要望していきます。

2 学校行事に関して

○学校行事を再開してほしい。参観日を増やしてほしい。オンラインをもっと活用してほしい。

⇒新型コロナウイルスの影響により、今年度も大阪府教育庁の対策マニュアルに沿って学校行事等の検討を重ねてまいりました。無観客開催の運動会は、当日の様子を録画し、懇談時に保護者様に鑑賞していただき、写真配付も行いました。作品展は、児童・生徒の作品をスライドショーにして学校ホームページから動画を視聴できるようにしました。今後も学校での児童・生徒の様子を見ていただけるよう検討してまいります。

○来校や行事の際、校内駐車をできるようにしてほしい。

⇒校内駐車につきましては、児童・生徒の安全確保、学習及び活動機会の確保を第一に考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

3 教育活動に関して

○学校や授業の様子がよくわからない。連絡帳に日々の細かな様子を書いてほしい。学年だよりの回数を増やしてほしい。学年だよりに授業の様子や、写真掲載などをしてよりわかりやすくしてほしい。

⇒児童・生徒の日々の様子については、できる限り詳しく伝えるようにしておりますが、連絡帳や学年だよりに等を通してより学校での様子、授業の様子がわかる工夫・努力をしております。

4 その他

○学校教育自己診断アンケートの項目が、わかりにくい。評価しにくい項目があった。

⇒今年度は、類似項目を一つにまとめるなど項目の修正や削除を行いました。より回答しやすいアンケートになるように、今後も文言等の見直しや確認を行い、改善・工夫に努めたいと思います。

(4) まとめ

学校教育自己診断アンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。アンケートの結果（記述回答を含む）を全教職員で確認し、各関係部署で検討を行い、課題解決に向けて取り組んでまいります。

【提出率について】

昨年度と比較して生徒（高等部）の提出率は2%下がった。また、保護者・教職員の提出率はともに1%下がった。次年度もこまめに呼びかけを行い、より多くのご意見をいただけるように働きかけていきたい。

【集計結果・分析について】

『生徒（高等部）向け』アンケートは、10項目中7項目が達成基準（肯定的意見70%以上）に達し、『保護者向け』アンケートは、28項目中27項目が達成基準に達した。また、『教職員向け』アンケートは、54項目中36項目が達成基準に達した。

『生徒（高等部）向け』アンケートは、昨年度と比較して肯定的意見の数値が5%以上上昇している項目が7項目あり、全体的に数値が上昇している傾向にある。今年度は少しずつ学校での活動が再開できたことが上昇の原因と考えられる。達成基準に達しなかった3項目については、課題として真摯に受け止め、改善を行っていく。

『保護者向け』アンケートは、昨年度と概ね変わらない結果であった。「地域の学校との交流」に関する項目のみ達成基準に未達で、さらに肯定的意見が7%下降した。居住地校交流や近隣の学校園との交流が、本校の教育活動とより密接に結びつくようさらなる実践を進めていきたい。

『教職員向け』アンケートは、今年度新たに「わからない」の選択肢を追加したため、昨年度との単純比較はできないが、全体的に数値が下降している傾向にある。特に、「組織マネジメント」の項目は、11項目中9項目が達成基準に未達であった。情報共有の在り方や組織マネジメント等、今後「見えやすい」機能的な学校運営にしていく必要がある。「ICT機器の充実・活用」に関する項目の数値は大きく上昇した。今後も児童・生徒や教職員がICT機器を計画的かつ積極的に活用できるように推進していきたい。